

議案第18号 平成28年度久喜市介護保険特別会計予算に対する修正案の提出について

上記の修正案を別紙のとおり、地方自治法第115条の3及び久喜市議会会議規則第17条の規定により提出します。

平成28年3月18日提出

発議者 久喜市議会議員

杉 野 修  
渡 辺 昌 代  
石 田 利 春  
平 間 益 美

久喜市議会議長 井 上 忠 昭 様

(別紙)

平成28年度久喜市介護保険特別会計予算に対する修正案

議案第18号 平成28年度久喜市介護保険特別会計予算を次のとおり修正する。

第1条第1項中「9,173,000千円」を「9,170,688千円」に修正する。

第1条第2項で定める「第1表歳入歳出予算」を次のとおり修正する。

歳入

単位:千円

款	項	原案の金額	修正案の金額
1 保険料		2,289,502	1,919,502
	1 介護保険料	2,289,502	1,919,502
3 国庫支出金		1,667,034	1,664,722
	2 国庫補助金	142,928	140,616
7 繰入金		1,474,975	1,844,975
	1 一般会計繰入金	1,464,556	1,834,556
歳入合計		9,173,000	9,170,688

歳出

単位:千円

款	項	原案の金額	修正案の金額
1 総務費		372,945	370,633
	1 総務管理費	283,041	280,729
歳出合計		9,173,000	9,170,688

## 提案理由

市民所得が減少するもとの、住民の暮らしを守り、支援する措置を講じるものです。

高齢者の暮らしを守り、支援する措置を講じる修正です。

今、65歳以上の方は、年金が減り続ける中、消費税の増税や円安による物価高など、高齢者の暮らしは大変厳しくなっています。さらに、平成27年度の第6期介護保険事業計画では、第1号被保険者の基準額は、6.3%もの値上げになりました。そして、医療・介護総合法により、受けられる社会保障は削減され、負担は増えています。加えて、第1号被保険者の負担割合は、21%から22%になり、1%増えています。

そのような中、久喜市の平成28年度介護保険予算の公費負担である調整交付金は、0.68%しか算出されていません。本来国の調整交付金は5%であり、公費負担の50%は遵守すべきです。久喜市が受ける国の調整交付金5%に満たない4.32%は、第1号被保険者に負担させるのではなく公費として補助すべきです。

以上の事から、第1号被保険者約4万1000人 保険料を一人当たり9000円、総額3億7000万円の引き下げを行う予算修正です。

その他の修正として、マイナンバー制度を構築する事業である、「社会保障・税番号制度システム整備費補助金」の削除を実施します。マイナンバー制度は不必要と判断したものです。

尚、厚生労働省は、このような介護保険料に対する自治体の独自減免について「独自補填はできない」とする見解を自治体に通知していましたが、「法令上は禁止されていない(厚生労働省介護保険計画課)」と認めています。

修正予算説明書 (介護保険特別会計)

歳入

NO.	P	目	節名	原案	修正額	修正後の額	修正概要
1	408	1 第1号被保険者保険料	1 現年度分特別徴収保険料	2,047,618	▲370,000	1,677,618	第1号被保険者の保険料1人約9000円引き下げる。40000人
2	416	1 介護給付費繰入金	1 現年度分	1,077,543	370,000	1,447,543	一般会計の繰入金
3	412	3 国庫支出金 2 国庫補助金 5 介護保険事業費補助金	1 社会保障・税番号制度対応システム整備費補助金	2,312	▲2,312	0	情報システムの構築。マイナンバー制度に基づいた事業であり、不必要と判断
			合計	3,127,473	▲2,312	3,125,161	

(単位:千円)

歳出

NO	P	目	事業名	節・区分	原案	修正額	修正後の額	修正概要
1	422	1 一般管理費	3 一般管理業務経費	13 委託料	20,550	▲2,312	18,238	介護保険システム改修業務委託料 マイナンバー制度に基づいた事業のみ 不必要と判断
			合計		20,550	▲2,312	18,238	

(単位:千円)